

# まちづくりアドバイザーの概要

## (1) 経過と配置

これからの地方分権社会において、地域住民の自主的なまちづくり活動への支援を充実させることが必要です。平成 16 年に報告された「京都市における行政区制度のあり方について」（京都市行政区制度検討調査会）では、地域における市民主体のまちづくり活動を支援するために、まちづくり活動に関する専門家の派遣が求められています。

これらの状況を踏まえ、まちづくりに関する専門的な立場から、区役所・支所の職員とともに、区民の自主的活動を支援し、区役所・支所が実施する「まちづくり事業」全般の企画・運営への助言等を行う「まちづくりアドバイザー」を平成 18 年度から一般公募により、3 名配置しました。

その後増員が進められ、平成 23 年度からは 14 名体制で各区役所・支所を担当してまちづくり活動への支援を行っています。

## (2) 業務内容

各区役所・支所で職員とともにまちづくりに関わる事業を推進するほか、地域の課題解決のため、地域に出向いて地域の方々の活動をサポートします。

### ① 地域における自主的なまちづくり活動の支援

住民主体で取り組む地域課題の解決や地域の活性化に向けて、長期的なまちづくりのプロセス全般へのサポート、ワークショップ等の企画立案及び運営などを行います。

- 交通問題や福祉問題、地域の活性化等、地域固有の課題の解決に向けた支援
- 地域コミュニティ活性化や安心・安全のまちづくりに向けた地域の取組支援 など

### ② 各区基本計画の推進に関するアドバイス

区民まちづくり会議の企画・運営をはじめ、各区基本計画の推進に係るアドバイスをを行います。

- 各区基本計画の推進のための区民まちづくり会議等の企画・運営
- 計画に基づく各種プロジェクトの運営と助言 など

### ③ まちづくりに関する幅広い助言

まちづくりに関する専門的知識及び経験を生かした“アドバイザー”として、情報を収集・発信し、各区役所・支所におけるまちづくり事業全般に関する助言を行います。

- 各区の魅力や情報の発信に関する助言
- 地域住民、団体、事業者、NPO等とのパートナーシップ形成に関する助言 など

※ワークショップ…ワークショップは、参加者が創造的で生き生きとしたアイデアを生み出すための一手法です。グループでの話し合いやゲーム・作業によって、自由に意見を話し合うことで、お互いへの理解を深めたり、合意を得たりするのに有効な手法です。